

下関市公民共創型移住プロモーション創出業務評価基準書

	評価項目	評価の視点・基準	配点
1.基本方針	業務趣旨の理解度	本業務の目的を理解し、その達成に繋がる提案であるか。 下関市の地域資源に対する理解と、それを活かそうとする意図が見られるか。 行政と市民・民間との連携を重視した提案であるか。	5
2.実施体制	(1) 実施体制と専門性	担当者やチームの専門性、これまでの類似事業の実績 地域との協働実績、コミュニティ形成・運営経験の有無 アドバイザー・クリエイター支援に関するノウハウ・体制	20
	(2) 実施体制・遂行能力	業務を一元的に管理できる体制が明確であるか。 本市との連携（定期ミーティング含む）や情報共有の仕組みが具体的であり、円滑なコミュニケーション体制が構築されているか。 人員配置が適切であり、各担当者の役割分担が明確であるか。共同提案の場合は、各構成員の役割と連携体制が明確であるか。	5
3.事業の内容	(1) 事業全体のマネジメントと成果評価	事業のフェーズ分け、タスク、スケジュールが具体的かつ現実的であり、実現可能性が高いか。 行政、地域団体、教育機関等、関係機関との円滑な連携体制構築・調整に関する具体的な方法論が示されているか。 事業成功に向けたKPIが適切に設定されており、その分析に基づく定期的な報告及び改善提案の具体性が高いか。	10
	(2) 共創コミュニティの形成	若者やクリエイターが「気軽に集い、協働できる環境」を具体的にどのように作り出すか、その実行可能性は高いか。 地域の大人やプロクリエイターによるアドバイスや支援機会（メンターシップ等）提供に関する具体的な内容が示されているか。 メンバー間の交流を促進するためのイベントやワークショップの企画が、多様なニーズに応え、かつ継続性のあるものであるか。 本拠点の運営を担う中心的な人材（ハブ人材）が具体的であるか。 コミュニティの活動状況の可視化と、活動参加を促す情報発信の方法が具体的であるか。	20
	(3) ローカルコンテンツの制作・発信支援	下関の多様な地域資源を掘り起こすためのフィールドワーク・ワークショップが具体的であり、参加者の主体性を引き出す工夫があるか。 ローカルコンテンツ（動画、記事、SNSコンテンツ等）の具体的な実施支援策が明確であるか。 制作されたコンテンツをターゲット層に効果的に届けるための発信戦略（Webサイト、SNS、メディア連携、イベント等）が具体的であり、拡散性が期待できるか。 コンテンツ制作プロセスを通じて、参加者の成功体験を創出し、次なる活動への意欲を醸成する内容となっているか。	20
	(4) 関係人口創出に向けたプロモーション	本拠点及びローカルコンテンツの魅力を発信し、繋がりを強化するためのプロモーション戦略が具体的かつ効果的であるか。 「自分事」として関わる人々を呼び込む仕組みが実現可能であるか。 ローカルコンテンツや拠点活動を通じて得られた関心層に対する継続的な情報提供、交流機会の創出方法が具体的であるか。	10
4.独自提案	独自性・革新性・発展性	上記（1）～（4）の業務内容を超え、期待以上の効果を生み出す独自の提案が示されているか。 提案内容に自社の知見、ノウハウ、技術、ネットワークなどが活かされており、その具体性と事業への貢献度が高いか。 提案内容が、既存の枠にとらわれない革新性と発展性を持っているか。	10
5.事業経費	見積価格	経費の積算は適切か。	-
合計			100